

MONTHLY

ブルームスタイル

BLOOM STYLE

30/Mar/2012 #16

[連載]

Let's Take a Pics!

～ぶるすたフォトコンペ：後編～

積読多読術

～「残す」読み方～

[特集]

ぶるすた流Mac活用術

Mac のいいところって

Win からMac に乗り換えてみて-ライター間インタビュー

コラム：台湾Apple・Mac 事情

特集

ぶるすた流 !!Mac 活用術

Mac のいいところって

Win から Mac に乗り換えてみて - ライター間インタビュー

コラム：台湾 Apple・Mac 事情

連載

11 Let's Take a Pics! 一写真 Hacks! Bloom Style —

#13 ぶるすたフォトコンペー [後編] —

17 積読多読術 vol.16

3ー8 「残す」読み方

20 編集後記&ライター紹介

特集

ぶるすた流!!

Mac 活用術

BloomStyle が始まって 1 年あまり。最初は Windows だけを使っているライターが多かったのですが、いつのまにかライターの半数以上が Mac ユーザになっていました。でも、Mac は iPhone や iPad の影響で使っている人は増えていますが、まだまだマイナーな存在だと思います。

そこで、今回の特集では、一般的な Mac の説明ではなくて、BloomStyle(以下、ぶるすた)メンバーがどのように Mac を使っているのかの具体例を通じて Mac の活用術をご紹介します。

Mac の いいところって

@hal_99

Windows でも十分使えているし、Mac に変わるといろいろ大変なんですよ？と数年前に思っていた私も、自分で原稿を書くようになったり、Lifehack で紹介されている様々な Tips を実践しているうちに、なんだか Mac を便利に使うようになっていました。原稿やブログを書いている時に気になってきたちょっと Mac の良いところをご紹介します。

・文字が綺麗

機能ではありませんが、Mac のフォントはとても綺麗です。ホームページを巡回したり、原稿を書いていたりと、やっぱり気になるのは文字です。Mac ではヒラギノというフォントが採用されています。このフォントが目優しく長時間 Mac で作業していても快適なのです (Windows も最近ではメイリオというフォントが導入

されて徐々に綺麗にはなっています)。こればかりは見てみないと分からないのですが、実際の画面で一度ごらんになって頂きたいです。

・意外と侮れない辞書ツール

書き物をしたり、調べものをしていて、辞書を使う事は今でも多いと思います。この辞書が標準で付いていて、気が利いて

います。「大辞泉」「プログレッシブ英和・和英辞典」「類語辞典」「英英辞典 (New Oxford American Dictionary)」の4種類に加えて、Web 上の Wikipedia も併せて検索出来る機能が付いています。

何か書き物をしていてさっと調べたいとき、ブラウザで資料を見ていて語源などを調べたいとき、こんな時に標準でついている辞書が役に立ちます (大抵のソフトでは、調べたい文字をマウスで範囲指定して「Command + Control + D」を押すと辞書が起動して直ぐその文字の意味を調べられます)。辞書を後から購入するというのは、意外に高額なものです。こうしたソフトが最初から入っているという点は良いですね。

・バックアップ

意外に侮れないのがバックアップです。パソコンが壊れて大事な写真が無くなったとか、作っていたデータが消えてしまったというのはよく聞く話です。Mac だと

TimeMachine というバックアップをするための機能があります。手近にある USB の HDD 等を Mac につなげてバックアップ先に選択するだけで OK。後は、1 時間に 1 回、勝手にバックアップを取ってくれます。昨日書いていた原稿をうっかり消してしまった！こんな時にも TimeMachine でバックアップしたものがあれば直ぐに取り戻せます。一度設定すれば後は勝手にバックアップを取り続けてくれるので（容量が不足してきたら古いものから消えていきます）、バックアップをしなきゃ！という事ありません。

これに加えて、新しい Mac に買い換えた際に、このバックアップの HDD から中身取り出して新しい Mac に持って行くこともできます。新しいパソコンを買ったけどセットアップが面倒という事は無いわけです。



・ iPhone/iPad と相性抜群

同じ Apple の製品だけあって、iPhone・iPad との相性は抜群です。とくに、Mac 側に入っているアドレス帳や写真を管理できる iPhoto との連携が簡単です。Mac で友達のメールアドレスや電話番号をアドレス帳に登録しておく、そのまま iPhone にも反映されます。iPhone で撮影した画像もそのまま iPhoto に登録されるので、デジカメなどで撮影した画像をまとめて管理できてとても便利です。

・ Lifehack ツールと仲良し

Evernote 等のいまでは Windows でもメジャーなライフハック用のソフト。なぜか Lifehack 用のソフトは Mac で最初に出ることが多いです。ちょっとした新しいツールを試して見たいなんていうときは、Mac で早く触ってみるというのも良いかもしれません。

・ いざとなれば Windows も！

そうはいつでも、Windows でないと出来ない事もあります。そうした時に、いまの Mac なら Windows を使う事も出来ます。Windows の OS は購入する必要がありますが、Mac と Windows を電源スイッチを入れたときにどちらを起動するか選べる様にインストールすることができます。これも最初から両方起動するための仕組みが入っていますから、どうしても！という時にも対応できるわけです（もちろん Windows をインストールしたり、設定したりといった作業は必要になってしまいます）。

でも、ちょっと苦手なところも ..

・ 少ないラインナップ

ソフトの種類はまだまだ少ないと思います。Mac で有名なソフトが自分に合えば

良いのですが、合わなくて他の物を、と探し始めると種類の少なさから代替えを見つけづらかったりします。そうしたところは、まだ残念なところですよ。

併せて、ハードも種類が少ないです。例えば、モニターをお持ちの方がMacを欲しいとおもったら、MacMini(最も下位グレードのMacシリーズ)かMacPro(最も上位のMacシリーズ)のどちらかしかありません。中間のiMacシリーズはモニターが一体型になっているので、買い換えるときはモニターも併せて買い換えるしかありません。この微妙に少ないラインナップは、実際に購入するときにどれを購入すべきか悩ましいポイントかもしれません。

Macが元々持っている機能で、使っているうちにこれは便利だな、と思う物をご紹介します。Macは物を書いたり・作ったりするクリエイティブな作業をそっと支えてくれるそんな機能が満載です。是非一度触ってみてください。

Win から Mac に 乗り換えてみて

- ライター間インタビュー



hal_99: さて、今回はMacをしばらく使ってみてという体でのインタビューということですのでよろしくお願いします。

むにぞ: こちらこそ～。

hal_99: まずやっぱり、Macの使い始めの印象ってやっぱり難しそうって感じなんですか？

むにぞ: うーん、難しそうと言うより、慣れるのかなと言うこと、と何ができるんだろう？という感じかな。

むにぞ: ソフトの機能もまた一から覚え直しでしょ？だから、操作に慣れるのか、何の機能があるのかわかるまでが大変。

引っ越した後、その周りにどんなお店があるのか、わからなくて不安なのと同じかな。

hal_99: 操作方法の覚え直しというか、いままで使ってきた物との違いというあたりに慣れていくことは確かに必要ですね。

むにぞ: まわりに誰も詳しい人がいないと、乗り換えのお金もかかっちゃいますし、リスクが高いと感じる人はいると思うな。

※やはり新しい環境に急に飛び込むのはリスクを感じますね。

むにぞさんも Mac に興味はあるものの、そうした点を感じられてなかなか使うチャンスがこれまで無かったそうです。

hal_99: なるほど。やっぱり既に他のパソコン (Windows 等) を使っているとそ

ういうことを感じますよね。

ただ、今回の場合、初期コストは低かったじゃないですか (笑)

むにぞ: ぐふふ (笑)

hal_99: それと併せて、約半日かけて基本的な操作方法やよく使うソフト、基本的な設定といったお話をしてからお渡ししましたが、ああいうのが無いとやっぱり難しそうですね。

むにぞ: そう思います。いじってみている察していきやすいと、Mac は思いますが、それでもそれを試すだけの時間と洞察力が必要ですよね。

たいていの場合はそこまで難しいと思うのです。

hal_99: となると、やっぱりこれから初めて見ようかなって方は、いきなり購入するより、周りの詳しい人か、せめて1冊ぐらい Win->Mac 本！を見てみるのがいいかもしれませんね。

※ここで、ジーニアスバーのお話ができました。AppleStore では Mac の基本的な使い方や主立ったソフトの使い方などを教えてくれる教室が頻繁にかかれていきますので、お近くに AppleStore がある場合はそちらを利用してお試しになるのも1つの手だと思います。

hal_99: ところで、Mac を使い始めてそこそ経過したと思いますが、どうですか？

むにぞ: Mac の方が何となく作業に集中できる (アウトプットできる) 感じがしますね。

hal_99: 私もその通りなんですけど、なんでなんだろうね。

hal_99: フォントとかですかね。

むにぞ: フォントか…。

hal_99: Widows7 はメイリオフォントが導入されて比較的綺麗な文字になりました。が、Windows-XP あたりまではやや読みづらいフォントが使われていて、Mac の文字はこれよりは格段に読みやすいと思います。

むにぞ: なるほど。フォント以外の差としては、Win の画面ってなんかぎらぎらしてるって思うんですよ。

hal_99: ああ、温度ですね。Windows 用のモニターの多くは 9300K で出荷されているので、青みが強いのです。

Mac は 6500K なので、より自然に近い感じになっています。

(※温度の数字が小さいと赤っぽくなり大きいと青っぽくなります。太陽光は昼光で 5000 ~ 5500K です)。

むにぞ: あ、結構違いますね。その温度差があるから、Mac だと、途中で疲れちゃわないのかも。Win はすごく肩こるんです。

hal_99: 6500K だと印刷した時の差が小

さいので、そうした点からも Mac は物書きにはあってるのかもしれないね。

※温度はモニター側の設定で変えられる物も多くあります。ここでは初期出荷として多く使われているだろう値として会話しています。

さて、話は Mac のソフトに入っていきます。

hal_99: あと、Growl は私が勝手にいれたんですが。

むにぞ: はい。これはいいですね。何かあると自分に情報が集まってきて、安心感あります。

今処理しなくてもいいけど、何が起きているかは知っておきたいという。管制塔みたいな役割ですかね。

hal_99: 今使ってる、アプリケーションに関係無く情報が集まってきますもんね。
> Growl

むにぞ: だから、もう助かってます。集中力って、情報を遮断するだけが脳じゃないと思いました。

hal_99: そうですね。控えめにちょっと出てくるのがいいですね (※ Growl の表示方法は相当控えめなものから結構派手なものまで選択することもできます)。

むにぞ: そうですね。これ以上だと。「クマはだまっとけ！」になります (笑)

hal_99: これの、Windows 版に該当するソフトはさがしたんですどうもしっくり来なくて見つからないのですよね。

むにぞ: そなんだ。ちょっと残念ですね。

hal_99: そういえば、Mac でよさそうなソフトをどうやって探したらいいかわからないなとおっしゃっていましたが、Windows より情報が少ないせいですか？

むにぞ: あんまり探し先がわからないんで

すね。

hal_99: なるほど。

hal_99: 初心者の方にアドバイスとしては、Web で大変便利なサイトもありますが、"Macfan" や "MacPeople" といった月刊誌がありますので、これを数ヶ月買ってみて、書いてる記事を読まれることをオススメします。有名なソフトの解説や新しいソフトの紹介、関連するサイトとかの情報元も掲載されているので、こうした所から情報を広げていくのが良いともいます。

むにぞ: わかりました。

hal_99: 今だと、春とかで「新社会人のための Mac 基本！」みたいな記事がありますから、それから始めるのもいいかもしれませんね。

むにぞ: なるほど。本屋さんへ GO ですね。

hal_99: 毎月同じ本でなくても興味があるほうを買うのでも十分だともいます。

むにぞ: 春さんはどちら好き？

hal_99: MacFan ですな。

むにぞ: では先にそちらを。

hal_99: 私の個人的な感じとしては、MacPeopleの方がより初心者（初めてコンピューターにさわる人）をターゲットにしている、MacFan はちょっと Mac を知ってる人、Win からの移行組ぐらいがターゲットだと思います。

hal_99: まずは、書店で手に取ってみてください。

※月刊誌のこの2冊はMacに興味がある方は是非ご覧ください。
インタビューの方は、そろそろまとめです。

hal_99: いろいろお話を聞いてきましたが、今時点のむにぞさんから見た、Mac

の魅力って何ですか？

むにぞ: そうですねー、やっぱり、密着した感じ、というんでしょうか。使っていて、ぴたっと吸い付くような使い心地がします。

hal_99: Windows だとそういう感じはしない？

むにぞ: 非常に感覚的な言葉で恐縮ですが、Windows だと自分とは別の人と常に戦ってるような感じがします。

むにぞ: でも、ものすごい差という感じが無くそうした感覚の差です。

hal_99: なかなか面白い比較ですね。そうした感覚の差が積み重なると使っているとなんとなく快適という風になっていくのかもしれないね。

むにぞ: そうかもしれないですね。

hal_99: 今日はありがとうございました。

これからも Mac を使ってみてくださいね。

むにぞ: はい、お疲れ様でした。

対談を終えて

むにぞさんはお仕事では Windows を使われていて、個人で使うときに Mac/Win の両方をお使いとのことでした。Mac を使われてみて吸い付くような感じと言われていたのは私にも分かります。今回の特集で Mac の良い所を掲載していますが、バックアップだったり、辞書だったり一つ一つはとても小さな機能です。それが積み重なってくるといつの間にか快適な利用環境になっている、それが Mac の魅力だと思います。

コラム

台湾 Apple・Mac 事情

@mayuki2424

Apple 社は iPhone4S や iPad2 の製造を台湾の鴻海精密工業 (Hon Hai Precision Industry Co.Ltd: 通称フォックスコン) に委託しています。実際に工場があるのは中国大陆で、そこでは新機種の情報事前に漏れないよう、厳密な製作工程がしかれていると言われています。この工場の労働環境が劣悪かどうか、というのは諸説ありますが、何にせよ、これだけ大量に生産される新機種の情報製造中に一切漏れないことからしても、人的・物理的に相当の

情報漏洩防止体制がとられているのでしょう。

で、製造を請け負う本社のある台湾一般の Apple 製品事情は優遇され、もしかしてとってもいいのではないかなと思ったら、そうではないようです。

もともと台湾の PC 分野では Microsoft のひとり勝ち。ASUS・acer などの台湾本社メーカーは世界中に割安の PC を提供し成長しています。台湾の秋葉原といわれる光華商場で国内の個人用 PC シェアの状

況を眺めても、まだまだ Windows の勢いは衰えません。感覚としては Win:Mac = 9:1 といったところ。

しかし、独特なインターフェースを誇る Apple 製品には以前からコアなユーザーも多く、iPhone・MBA が発売開始になってからファンは確実に増え、町中でも MBA や iPhone ユーザーをしばしば見かけるようになっているそうです。特に iPhone は、夜市でカバーを売る店が何店舗も出るほど普及しつつあります。

日本国内には AppleStore が各主要都市 1～2 軒ずつ計 7 軒あるので、このようにユーザーが増えつつある今、九州ほどの大きさの台湾にも 1～2 軒あってもいいような気がしますが、実は GeniusBar・直営 AppleStore はまだ一軒也没有。それでも Apple 製品は売られているわけで、どこで購入したり修理を受け付けているのかというと、日本でいう家電量販店や町中の電気屋さんの一角にそっとある AppleShop といわれる代理店なのです。各店舗の経営者はそれぞれ違うため、対応もまちまちなことが多いとか。Apple 製品は機械内部を「いじれる人」

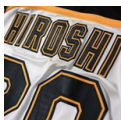
が決まっていて、それ以外の人が機械を開けるだけで保証が切れてしまうので、修理となればまずは修理工場のある（修理できる人がいる）台北に送られます。しかし、そこに部品がないと、なんとシンガポール送りになってしまうというはるばるぶり…。しかも、戻ってくるまでの約 2 週間、代替機の貸し出しなどという直営店ならではのサービスは一切ありません。iPhone を修理に出したら、2 週間携帯のない状態に…海外で修理中に電話が鳴ったらどうするのでしょうか。

こういう状況については、前述のコアなユーザーも「こういうもんだからしかたがない」とのんびり構えているところは、台湾のおおらかなお国柄ともいえます。しかし、iPhone が普及してきはじめた今、迅速な対応への要望も徐々に高まっているとか。

台湾の電波網は日本よりも確実に上。地下鉄車内でも携帯や Wi-Fi が入るし、台北市は昨年駅や地下鉄内に公共フリー Wi-Fi を敷き、海外からの観光客にも開放しました。この状態で、機動性に優れた MacBookAir が個人ユーザーに選ばれる

ことも多くなることが予想されます。しかし現在は、日本のように iPhone 販売で行列を作ることもなく、Apple 製品に関して幻想のない cool な状態。成長途中の Win 機メーカーがある台湾だからこそ、Apple もその中で確実に受け入れられる素地を作って、慎重に台湾上陸を狙っているようにも見えます。

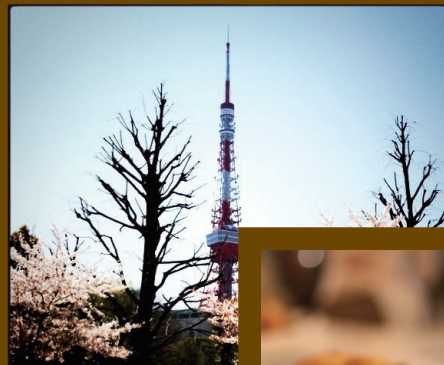
Let's Take a Pics!
- 写真 Hacks! Bloom Style -
#13: ぶるすたフォトコンペ [後編]



[@viento_sur](#)



[@3 DaiMe_Yoshi](#)



Vol.12 でお披露目した各ライターからのエントリー作品、Vol.13 では作品を選評しました。前回からだいぶ時間がかかってしまいましたが、今回は他のメンバーの作品について対談を実施しました。どんな意見が飛び出したか。。。。



■ @BlackBird_911

@viento_sur : この桜の写真、どうしても桜の明るさに引きずられて、全体的に露出アンダーになってしまいがちですね。プラス補正で撮影しないと暗くなってしまいます。

@3_DaiMe_Yoshi : それにバックが空だ

からなおさら難しいですね。仕上げでホワイトバランスを変えるとだいぶ違って見えます。

@viento_sur : そうですね。でも残念なのは空のディティールが消えてしまうこと。

@3_DaiMe_Yoshi : 確かに。デジタルのいいところは撮影した後でいじれることで

すが、この写真の場合は補正してもだいぶ飛んでいますね。コントラストもいじったほうがいいかもしれません。

@viento_sur : 空にマスクを書けて補正した方が良いでしょう、きっと。

@3_DaiMe_Yoshi : トライしてみます。全体的に構図はいいですね。

@viento_sur : はい。良いと思います。対角線がうまく出ていますしね。でも個人的にはもう少し左側に空が欲しかったかなと。画面全体右寄りだと良いかなと思います。

@3_DaiMe_Yoshi : そうですね。下のほうに写り込んでいる後ろの木はちょっと邪魔かな

@viento_sur : でもこの目の前の桜の美しさを捉えたい！という気持ちはよくわかります。春に向けて桜のアドバイス、なにかありますか？

@3_DaiMe_Yoshi : そうですねえ。

@viento_sur : 私はやはりプラス補正で撮影することかなと思います。コンパクトデジカメでどんなモードがあるかはわかりませんが、一眼レフを使用している方は、まさに露出補正の使いどころですよ。

修正後



@3_DaiMe_Yoshi : 確かにそうですね。

色々な設定やモードを使い倒しましょう。

@viento_sur : 桜って本当に魅了されて心に直接訴えかけるものがあるので、まずは赴くままに撮影すると良いと思うんです。そしてある程度冷静になってみて、色々撮影モードを変えたり、構図を変えたり

して、撮影してみると良いですね。

@3_DaiMe_Yoshi : これからの季節ですから、是非 Try & Error を。

■ **@Hal_99**

@viento_sur : こちらも桜ですが、instagram の作品ですね。

@3_DaiMe_Yoshi : これは面白いですね。



縦構図がやや上すぼまりで、バランスはいいです。6×6のポジみたいでいいなあ。最近買った Pen EP-3 のモードでもこれに似た感じのアートフィルターがついているんですよ。

@viento_sur：いいですねえ。

@3_DaiMe_Yoshi：手軽にこういう写真が撮れるのもスマホの利点ですね。ミニチュア写真なんかも面白いですよ。

@viento_sur：この写真もミニチュアみたいに写っていて、おもしろい作品だと思います。確かにスマートフォンの普及で、こういったアートフィルターが本当に身近になりましたね。しかし、個人的には「フィルターのかかっていない写真がないのは不安」ですけど…オリジナル写真、保持しておきたくありません？

@3_DaiMe_Yoshi：わかります。アートフィルターで撮影すると、それがオリジナルになるのが残念ですね。ノーマル撮影して、PhotoShop なんかで加工すれば別ですが。

■ @lets_try_simo2

@3_DaiMe_Yoshi：これよくピントがきていますね。マクロレンズかな？

@viento_sur：いや、@lets_try_simo2 さんはマクロレンズ持っていなかったはずですよ。

@3_DaiMe_Yoshi：そうでしたよね。

@viento_sur：うまく背景ボケていますよね。

@3_DaiMe_Yoshi：そう。ボケがいいんです。かなり拡大してもピントがきていますね。

オートフォーカスあなどれませんね。

@viento_sur：あなどれませんよねえ。



一点気になるのは、やはりここでもそうなのですが、この色のカブリをどう捉えるかです。

@3_DaiMe_Yoshi : ホワイトバランスでしようか。オートだと思うんですけどね。

@viento_sur : オートでしょうね。

@3_DaiMe_Yoshi : これはEV 補正じゃないから、ホワイトバランスをマニュアルにして、光源に合わせてみましょうか。イエローがかぶっているんですよね。

@viento_sur : そうですね。そうするとやはり白熱球の影響かなと。

@3_DaiMe_Yoshi : でも、どうだろう。これくらいの暖色系がいいのかなあ。

@viento_sur : そうなんです。むしろその方が暖かくて良いという言い方もできるかもしれないんです。

@3_DaiMe_Yoshi : そうそう。パンの温かみですね。

@viento_sur : 何をもって主題とするか、意見が分かれそうですね。あとこの作品は、絞り優先で撮影されたようです。

@3_DaiMe_Yoshi : F 値は・・・5.6 ですね。

@viento_sur : ズームレンズなんでこれが一番明るい値なのでしょう。しかしフ

ラッシュ発光しない状態で、F5.6 なのに、よく 1/100 秒出たなと。ISO400 ですし。

@3_DaiMe_Yoshi : へえ。よく出ましたね。

@viento_sur : 電球色の光が強い場所だったのだと思います。なのでやはり色がかぶっている。そういう意味での補正が必要ですよ。

@3_DaiMe_Yoshi : そうですね。RAW だと、現像でかなり補正できますけどね。でも、これはオートで良く撮れていますよ。

@viento_sur : 自分の目に映ったままの世界を捉える、という意味では、ホワイトバランスの設定変更は本当に大事です。撮影後に戻すのを忘れちゃうと悲劇なんですけれどね・・・

@3_DaiMe_Yoshi : 確かに。ホワイトバランスって結構見落としがちなんですよ。ホワイトバランスのマニュアル使いも重要ですね。

@viento_sur : あと ISO も忘れちゃうんですよ・・・

@3_DaiMe_Yoshi : あるある。

@viento_sur : 指さし点検が必要です。

■ @titter88

@3_DaiMe_Yoshi : いい構図ですね。残念なのが、画質がちょっと…というところでしょうか。

@viento_sur : あとやや右上がりかなあ

@3_DaiMe_Yoshi : 水平ね。そうです。

@viento_sur : 空のディティールが本当に飛んじゃっているんですよね。

@3_DaiMe_Yoshi : 曇天かな。

@viento_sur : 全体的に彩度が低いのがもったいないです。

@3_DaiMe_Yoshi : 手前に草が広がっているのはいいですね。でももう少し色彩は欲しいですね。

@viento_sur : ほしいですねえ。でも芝生の密度がもっと高かったら良いなあと思います。

@3_DaiMe_Yoshi : まあ、それは仕方ないですね。

@viento_sur : こういうときに、構図に納めるのかどうかを悩みます。

@3_DaiMe_Yoshi : そうですね。主題を探し、その脇役というか引き立て役も探さ



一種、ハーモニーですね。

@viento_sur：そうそう。この道のアプローチを撮りたいと読み取れるのですが、引き立てる存在の芝生が少し寂しいなあと。条件そろったら一層素晴らしいと思いますね。

@3_DaiMe_Yoshi：そのとおりですね。道にもっと主張させてもいいかな。主題探しは重要なポイントですね。

■まとめ

@3_DaiMe_Yoshi：時間かかっちゃいましたが、他にもいい写真はたくさんありましたね

@viento_sur：そうですね。今回こうやってメンバーの写真を募って見ましたが、多種多様でおもしろかったです。日々の生活や視点からどんな風景を切り取るのか、人間性も見られるようで良いですねえ。

@3_DaiMe_Yoshi：確かに。またやってみましょうかね。今度は私達も出す？

@viento_sur：それいきましょうか。メンバー全員に投票して貰ったり。読者の方に投票して貰ったりもよいかなと。

@3_DaiMe_Yoshi：怖っ

@viento_sur：確かに怖いのですが・・・おもしろいとは思いますよ。

@3_DaiMe_Yoshi：それから、カメラ任せの撮影もいいですが、たまにはマニュアルも使ってみましょう。また別の表現ができるかもしれませんよ。

@viento_sur：ありがとうございました。

積読多読術 vol.16

3-8 「残す」読み方

前は、読みながら行う作業である、書き込みやライン引きの重要性について取り上げました。色で「時間」を、「記号」で「重要度」を、という考え方は、再読を前提とした読み方として有効ではないでしょうか。

今回も前回に引き続き、読みながらどのような作業を行えばいいかについて考えますが、今回は次の段階「残す」を意識して、付箋、ドッグイヤー、MY索引について、取り上げたいと思います。

「残す」段階に向けて

何らかの意図をもって本を読んでいる以上、本の内容をきちんと理解して考える力を養いたいところです。積読多読術では、第三段階「読む」よりも、その次の段階「残

[@BlackBird_911](#)



す」を最重要視しています。「残す」段階へ容易に移行できるようにするため、「読む」を「残す」の準備段階と位置づけ、読みながら作業していきます。以下では、効果的な作業として、付箋、ドッグイヤー、MY索引を挙げます。

「残す」段階を意識しながら読めば、読み方も自ずと効率的になるはずです。どこを残したいかを意識すると、自ずと優先順位のレベル分けがなされます。

より優先順位の高い箇所は、より確実に理解を定着させられるように、「残す」段階へのメッセージとしてより目立つ目印を立てます。読了後どのように活かしたいのかを考える点では、目的意識を持って読むことにも精通していると言えるでしょう。

付箋

「残す」段階では主に読書ノートにまとめていきます。そのための目印として、最も有効なツールは付箋です。読み進めながら、読書ノートにまとめたい部分に付箋を貼っていきます。

あらかじめ読み始める前に、紙のしおりや表紙の次のページ辺りなどに付箋を十数枚ほど貼っておくと、瞬時に取り出して貼ることができるので便利です。

(1)サイズ

まず、どのくらいのサイズが適当かが問題となります。ここでは、主に読書ノート作成作業の負担を軽減すべく、重要な箇所をはっきりさせるために付箋を用いるので、小さめのインデックス用の付箋がベストでしょう。小さい付箋であれば、貼り付けても本文にかかりません。

本に直接書き込みをしたくない人は、大きめの付箋を用意しておくとういでしょう。本文に付箋がかかってしまいがちですが、読みながら考えたことを残しておけば、読書ノートを作成するときには、その考えが

より高次のアイデアに昇華しているかもしれませんが、書き込まないで読むということは、どうしても避けたいところです。

ただし、複数種類の付箋を使うとしても、種類数を抑えておくのが望ましいでしょう。

(2)色

次に、どの色を使うかが問題となりますが、読みながらは色分けしません。複数の色を使うと雑然とした感じになってしまいますし、わざわざ色分けしようとする何色の付箋を貼るか手間取ります。

色分けするとすれば、前回の考え方を採用します。つまり、読む回数に応じて色分けします。今の自分にとって重要な箇所は、過去の自分にとって重要な箇所であるとも、未来の自分にとって重要な箇所であるとも限りません。再読を前提としている以上、時期をきちんと区別することは重要です。

(3)場所

付箋を貼り付ける位置についてですが、以下の通り3つあります。

①下

手もとにしおりがない場合、読み進めたページの下辺に付箋を貼り、しおり代わりにできます。付箋をしおり代わりにすれば、どこまで読んだかわからなくなることがなくなり、全体のうちのどの程度まで読み進めたかが一目瞭然になります。

また、読書ノートを並行して作成する場合、読んでいる部分とまとめている部分とで、複数のしおりが必要になりますが、付箋を使えばその心配も無用です。

②横

本の横に付箋を貼付けると開きづらくなってしまいますが、逆にそれを利用します。すぐに確認したい箇所や、理解できていない箇所など、「読む」段階のための目印として使います。つまり、あとで確かめたいのだが「残す」段階に入る前に再び目を通しておきたいところへ貼り付けます。

「読む」行為には流れがあります。多少わからない部分があっても、いちいち立ち止まって読み直したり調べたりなどして流れを妨げるべきではありません。読み進めていくうちに納得する場合もあれば、時間をおいて再び目を通すと容易に理解できる

場合もあります。このように仮の目印を立てておけば、あとで確認できると自分言い聞かせ、流れを乱すことなく読み進めることができます。

③上

読書ノートを作成するにあたって直接確認する部分として、ページの上辺を使って付箋を貼り付けます。本の中で重要だと思う箇所、再度確認を要する箇所など、アーカイブ的な位置づけとなる大事な箇所に貼り付けていきます。付箋を「横」から「上」へ貼り付け直すことも多々あります。

「残す」段階では、上に貼り付けたの付箋の数を十枚ほどに減らしていきませんが、躊躇することなく貼り付けるべきでしょう。単に読書ノートにまとめたい箇所だけではなく、「残す」段階の過程を通じて再読することにつながります。つまり、読書ノート作成の過程で再読の効果を得ることができます。

ドッグイヤー

付箋よりも重要な箇所、常に確認したいページには、ドッグイヤーをつけるべきでしょう。ページの端を折ってしまえば、より目立たせることができます。すぐに開くことができるので、かなり有効でしょう。

他方、そのページだけ開きやすくなってしまうので、私は避けています。しかしながら、その本の中で最も重要な箇所、類書の中でも重要な箇所、自分自身が読書をしてきた中で感銘を受けたならば、ドッグイヤーをつけるべきでしょう。

MY索引

(1)索引の重要性

読む本を選ぶ際の指標にもなりますが、索引のついている本は良書が多いと言えます。索引がついているということは、再読や調査を前提としており、索引を作成するだけの労力もかかっていると言えます。

索引を使ってみればわかりますが、自分が調べたい言葉が単に書かれているだけに

過ぎなかったり、そもそもその言葉がなかったりする場合も多々あります。索引がついていない本に至っては、1ページずつ調べなければなりません。

(2)自分用の索引を

優れた索引がついている本も確かにありますが、大抵の場合、自分にとって最良の索引とは言えません。そこで、自分にとって使いやすい「MY索引」を作ってしまいます。

MY索引は厳密に作る必要はなく、手間をかけずに必要最小限の労力で作成します。表紙や裏表紙のあたりにある真っ白のページを利用して、自分が再度確認したい部分・確認すると思われる部分のキーワードとそのページ数をリスト化していきます。

例えば、確かこの本のどこかに〇〇について説明している箇所があるはずなのだけど、どこにあったかとページを1枚1枚めくって探すような経験はありませんか？ 〇〇が自分の造語であったり文章であったりして索引に載っていない場合もあるわけですが、MY索引があればそのような問題

を解決できます。

また、索引を作成する過程で、その本の中で自分にとって重要な箇所が自ずと抽出されていくことにもなります。

MY索引は、ほんの一つ二つ程度の項目だけを書き出すだけでも構いませんから、きちんと作成すべきでしょう。

今回は、次の段階「残す」を意識しながら、付箋、ドッグイヤー、MY索引について考えました。

次回は、読み方をより大きく捉えて、音読やイメージを使った読み方、併読について取り上げ、そして、積読の本質に迫りたいと思います。

実は Mac 歴 15 年は超えています。
現在の愛機は MacBookWhite
2009Early モデルですが、
日々使い倒してしまっていることもあり、既にガタガタです。豹から山
らいおんへの乗り換えを本格的に
検討しているところですが、何より
MacBookAir の軽さ薄さ安さに羨
望中w



早稲田大学政治経済学部政治学科3年。岩手県盛岡市出身。多読
とライフログによる知的生活をコンセプトとする Apple 信者。懐古
主義者として奥野氏のノート術にはまり、様々な書籍を通して「多読」
[@BlackBird_911](#) が趣味に。読書術・ノート術・時間管理術に興味関心。最近では法
律学に目覚め、六法を引きまくる日々。

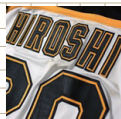
今回は以前からライター間で話題
になっていたが、なかなか特集
にできなかった Mac がメインに
なっています。ただいざ書いてみ
ようとなると OS の話なので何が
良いのかといったところを分かり
やすく捉えるというのはなかなか
難しい体験でした。



エンジニア系のノマドワーカーです。関東・関西・四国を主な対象
エリアとして移動しながら日々感じた事をブログや Twitter で発信し
ています。技術系エンジニアから一皮むけたビジネスパーソンになれ
[@hal_99](#) るよう日々努力中です。

BLOG : <http://d.hatena.ne.jp/tgg/>

人生初めての転職をし、3月から新しい職場での勤務が始まりました。2月は怒濤の引き継ぎで、あっという間に新職場に。そして来月からは大学院生活が始まります。BloomStyleが発足してまもなく2年。私たちの活動も転機を迎えているようです。新しいチームの姿に、是非ご期待ください。



[@viento_sur](#)

茨城生まれ南米育ち。現在は東京で某大手製造業勤務。IT 部門で業務プロセス改革に情熱を注ぐ。文房具、ライフハック、ワーク・ライフバランス、写真を志向。育児も大好き。一眼レフは EOS New kiss・EOS3・Kiss Digital と使い現在は 40D。ポートレートからスナップまで家族の日常を撮影する。好きな写真家は魚住誠一氏。

BLOG: -Viento Sur- <http://vientosur.cocolog-nifty.com/>

いよいよ N 社も C 社も、待望のフルサイズ機の後継機種が出ました。両社ともそれぞれ微妙なコンセプトの違いが見え隠れしていますが、私が使う N 社からは 36.3 メガピクセルのバケモノ機。ローパスフィルターを搭載しない機種もでるので、このほうが欲しいです。でも当面は様子見にします。



[@3_DaiMe_Yoshi](#)

20 年に亘る北京・シドニー・上海での勤務から、2008 年に脱サラ帰国、大正時代創業の三代目事業主。プライベートでは、昨年 30 年振りに始めたトランペットレッスンとバンド活動が、目下の My Favorite。今年は生涯で 5 本目のラップをゲット、練習に更に熱が入っている。

春さんの Mac をもらい受け、現在使いこなし中の私ですが、ちと重くてもいつも一緒、この子なしではいられない生活になっています。Cafe 作業時に目立つのはやはり「色」。いただいたのは 2007 年型 MBP で、現在主流のメタリックシルバーではなく、つや消しのブラックモデル…古いけれどスペックは十分で、このまましばらくこれでいいやとなりそうで怖い w



[@mayuki2424](#)

池袋に産湯をつかりながらも北海道十勝の冬の厳しさを味わい尽くした平成の女屯田兵。現在は書籍編集者。朋友 @mzk1592 が成り行き人生を見抜き嘆息。調教すべく Bloomstyle へ誘う。座右の銘は「やったことだけが知っていること」「ぐうたら三昧」「ひとつだけでは多すぎる」。プレスト (チャチャ入れ)、無謀なリプレイ、美味しさを独特の表現でコメントすることが得意。冬が大好きなくせに、寒いのはもう苦手。老後は暖かいところならどこでも希望。最近は iphone で台湾国語を習得中で、どうやら移住を狙っている模様。

Blog : 台湾のメニューと繁体字中国語 step up <http://ameblo.jp/mayuki24/>

今回、編集を担当いたしました。私もぶるすたをきっかけに Mac ユーザーになりました。敷居は高いと思うかも知れ始めると動画の見栄えの良さで Win 機に戻れないです。でも、仕事場では Win 機なので、偏った知識でなく、どちらも使えるというのがスマートな考え方だと改めて感じています。



[@lets_try_simo2](#)

Web 系システム保守開発のプロジェクト管理、人材育成に忙しい毎日。BloomStyle では Twitter 読書会の司会進行やイラスト、UST 配信を担当。標準語が話せる日本語バイリンガル大阪人。VOCALOID 好き。イラスト制作に力を入れている。

BLOG : レッツトライ! しもしも〜りたーんず! ~ <http://lets-try-simo2.seesaa.net/>
facebook ページ : <http://on.fb.me/nT1iUY>

あなたは以下の条件に従う場合に限り、自由に



本作品を複製、頒布、展示、実演することができます。



二次的著作物を作成することができます。

あなたの従うべき条件は以下の通りです。



表示 — あなたは原作者のクレジットを表示しなければなりません。



非営利 — あなたはこの作品を営利目的で利用してはなりません。



継承 — もしあなたがこの作品を改変、変形または加工した場合、あなたはその結果生じた作品をこの作品と同一の許諾条件の下でのみ頒布することができます。

Bloomstyle Vol.16

初版 2012年03月30日